

疾病対策課

疾病対策課業務概要

健康危機管理事業

県民の生活・健康を脅かす感染症や食中毒等の健康危機管理事案に対し、その発生予防及び拡大防止のために、習志野地域健康危機管理推進会議等を通じて関係機関との連携を図り健康危機管理体制の整備と拡充に努めている。

平成 26 年度は、新型インフルエンザ対策をテーマに、地域健康危機管理推進会議を開催した。

また、エボラ疑似症患者発生を想定し、特定感染症指定医療機関への搬送訓練を県と合同で実施した。センター職員、管内市保健部門や消防部門を対象として健康危機管理についての研修会を行い、新型インフルエンザやエボラ出血熱等の感染症発生時に備えて、個人防護具の着脱訓練、N95 マスクのフィットテストを行った。

疾病対策事業

1 結核予防事業

平成 26 年末現在の登録患者数は、191 人で前年より 11 人増加している。新登録患者数は、67 人で前年より 5 人減少しており、肺結核のうち喀痰塗沫陽性患者は 13 人であった。

罹患率は 14.3（人口 10 万対）、有病率は 10.2（人口 10 万対）であった。

結核予防対策については、知識の普及・啓発を図るために管内の高齢者施設、事業所等を対象に研修会を行った。

結核患者の治療の完遂を図るため、個別患者支援計画に基づき DOTS（直接服薬確認療法）を中心とする患者支援を行っている。また結核専門医療機関との連携会議で患者情報を共有し、患者管理及び患者の療養支援の推進を図り、コホート検討会を開催し治療成績の評価、支援対策の向上を図った。

2 感染症予防事業

感染症発生時は速やかに患者及び接触者や施設等への疫学調査・指導を実施し、感染症のまん延予防を行うとともに、各関係機関と協力し感染源の究明に努めた。

平常時においても感染予防、拡大防止のための相談や指導等を行うとともに、学校、高齢者施設・乳幼児施設等を対象に感染症予防のための研修会等を開催している。

3 エイズ予防事業

エイズ予防対策としては、関係職種や学校等を対象に講習会を開催するとともに、管内大学等にはパンフレットとキャンペーングッズの配布を行い正しい知識の普及・啓発を図った。

さらに、世界エイズデーに合わせて街頭エイズ予防キャンペーンを実施した。

エイズ相談（窓口・電話）では、相談内容に応じた対応をするとともに正しい知識の伝達に努めた。

HIV 抗体検査については、即日検査（月 2 回）及び夜間検査（月 1 回）を実施し、感染者の早期発見に努めている。

また、HIV 検査と同時時間帯に性感染症及び肝炎の検査を実施している。

4 特定疾患対策事業・指定難病事業

平成 26 年 12 月末までは「特定疾患治療研究事業実施要綱」「難病相談事業実施要綱」に基づき、ベーチェット病等 56 疾患の患者を対象として医療費の自己負担の軽減を図るとともに、在宅療養患者に対する援助を中心に難病対策事業を実施した。

「難病の患者に対する医療等に関する法律」が平成 27 年 1 月 1 日に施行され、対象疾患が 110 疾患に拡大された。

患者や家族が抱える医療や療養生活上の問題に対し、保健師や難病訪問相談員による訪問指導や面接相談を行うほか、在宅療養支援計画策定・評価会議を随時開催し、個別の患者支援について関係者との事例を検討し、療養支援を行っている。

5 原子爆弾被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」等に基づき、被爆者手帳の交付、各種手当の支給及び被爆者の健康保持のための健康診断を年 2 回実施した。

疾病対策事業

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年 区分		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
管内人口		451,612	456,223	462,043	463,862	463,995	466,680	469,779
新登録患者総数		67	87	69	81	71	72	67
登録者総数		198	175	172	216	228	260	191
結核死亡者数	管内	7	6	2	1	2	4	3
	千葉県	49	62	71	67	51	85	55
結核死亡率 (人口10万対)	管内	1.6	1.3	0.43	0.2	0.43	0.85	0.64
	千葉県	0.9	1.2	1.35	1.28	1.0	1.63	1.05
罹患率 (人口10万対)	管内	14.8	19.1	14.9	17.5	15.3	15.4	14.3
	千葉県	17.7	17.2	17.0	16.3	14.1	14.8	13.8
有病率 (人口10万対)	管内	12.1	16.7	13.6	17.2	17.2	12.0	10.2
	千葉県	14.1	11.9	11.9	11.4	8.9	9.5	8.8

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

(2) 新登録患者数

表1－(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市 町 村	総 数	活 動 性 結 核					罹 患 率 (人口10万対)	塗 抹 陽 性 の 占 め る 割 合 (%)	肺 結 核 の う ち (別 掲)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者 (別 掲)	結 核 死 亡 者 の 死 体 (別 掲)	結 核 死 亡 疑 い 者 の 死 体 (別 掲)
		肺結核活動性				肺 活 外 動 結 核 性							
		計	喀 痰 塗 抹 陽 性	菌 そ 陽 の 性 他	菌 そ 陰 の 性 他								
平成 24 年	71	55	18	25	12	16	15.3	32.7	23	—	—	—	
平成 25 年	72	56	29	17	10	16	15.4	51.7	25	—	—	—	
平成 26 年	67	49	18	25	6	18	14.3	36.7	31	—	1	—	
習志野市	29	23	9	13	1	6	17.5	39.1	12	—	1	—	
八千代市	20	12	3	5	4	8	10.3	25.0	7	—	—	—	
鎌ヶ谷市	18	14	6	7	1	4	16.4	42.9	12	—	—	—	

(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末現在登録者数(活動性分類別)

(単位:人)

区分 年 市 町 村	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人口10万対)	無 症 狀 病 原 体 保 有 者 (潜在性結核感染 症)(別掲)	疑 似 症 患 者 (別掲)
		肺 結 核 活 動 性				肺 活 外 動 結 核 性					
		計	抹 喀 陽 性 塗	菌 そ 陽 の 性 他	そ 菌 の 陰 他 性						
平成 24 年	228	43	16	18	9	21	157	7	17.2	93	-
平成 25 年	180	45	29	10	6	11	76	48	12.0	80	-
平成 26 年	191	33	13	16	4	15	65	78	10.2	89	-
習 志 野 市	69	18	8	10	-	4	22	25	9.6	26	-
八 千 代 市	79	18	1	4	3	8	28	35	8.3	33	-
鎌 ケ 谷 市	43	7	4	2	1	3	15	18	9.1	30	-

(4) 新登録患者数(年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	歳
		4	9	14	19	29	39	49	59	69	以上
平成24年	71	-	-	-	5	3	9	10	10	7	27
平成25年	72	-	-	-	1	4	4	7	7	16	33
平成26年	67	-	-	1	2	2	13	4	6	8	31
習志野市	29	-	-	-	1	2	5	2	3	2	14
八千代市	20	-	-	-	-	-	6	-	1	4	9
鎌ヶ谷市	18	-	-	1	1	-	2	2	2	2	8

(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

表1-(5) 年末現在登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0	5	10	15	20	30	40	50	60	70
		5	5	5	5	5	5	5	5	5	歳
		4	9	14	19	29	39	49	59	69	以上
平成24年	228	-	-	1	7	16	28	38	31	32	75
平成25年	180	-	-	-	3	12	15	33	28	25	64
平成26年	191	-	-	1	3	13	18	32	29	22	73
習志野市	69	-	-	-	1	7	7	11	10	8	25
八千代市	79	-	-	-	1	5	9	15	11	9	29
鎌ヶ谷市	43	-	-	1	1	1	2	6	8	5	19

(6) 管理健診実施状況

表1－(6) 管理健診実施状況

(単位：人)

区 分 年 度	対象者数	受診者数	エ ッ ク ス 線 検 査 数	喀痰検査数		健 診 結 果			要医療率 (%)	受 診 率 (%)
				塗抹	培養	要医療	要観察	観察不要		
平成24年度	398	285	285	33	33	1	233	51	0.35	71.6
平成25年度	359	274	274	40	38	1	195	78	0.36	76.3
平成26年度	329	238	238	25	25	1	169	68	0.42	72.3
保 健 所		31	31	－	－	－	19	12		
委 託 分		151	151	25	25	1	102	48		
そ の 他		56	56	－	－	－	48	8		

(7) 結核接触者健康診断実施状況

表1-(7)-ア 家族健診実施状況

(単位：人)

区 分 年 度	対象者数	受診者数	ツ 反 検査数	QFT 検査 数	ツ反かつ QFT 検査 数 (再掲)	エックス 線 検査数	喀痰検査数		健 診 結 果				要医療 率 (%)	受診率 (%)
							塗 抹	培 養	要医療	要観察	潜在性 結 核 感染症	異 常 な し		
平成 24 年度	176	160	6	31	2	148	2	2	1	4	2	153	0.6	90.9
平成 25 年度	167	159	2	44	-	147	-	-	1	2	6	148	0.6	95.2
平成 26 年度	138	130	8	81	8	130	-	-	-	2	5	123	-	94.2
保 健 所		75	-	61	-	75	-	-	-	2	5	68		
委 託 分		55	8	20	8	55	-	-	-	-	-	55		
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※対象者数＝法 17 条による勧告数

※受診者数＝健診に受診した延数

※対象者 1 名に対して QFT 検査を委託で直接撮影を保健所で実施した場合は、受診件数及び QFT 検査は委託分に直接撮影は保健所に各々 1 件と計上した

表1-(7)-イ 接触者健診実施状況

(単位：人)

区 分 年 度	対象者数	受診者数	ツ 反 検査数	QFT 検査 数	ツ反かつ QFT 検査 数 (再掲)	エックス 線 検査数	喀痰検査数		健 診 結 果				要医療 率 (%)	受診率 (%)
							塗 抹	培 養	要医療	要観察	潜在性 結 核 感染症	異 常 な し		
平成 24 年度	621	582	1	117	-	513	1	1	2	6	6	568	0.34	93.7
平成 25 年度	898	830	-	175	-	593	-	-	2	22	14	792	0.24	92.4
平成 26 年度	789	739	79	442	79	564	1	1	4	-	14	721	0.54	93.7
保 健 所		420	48	356	48	251	-	-	4	-	11	405		
委 託 分		195	31	86	31	189	1	1	-	-	3	192		
その他		124	-	-	-	124	-	-	-	-	-	124		

※対象者数＝法 17 条による勧告数

※受診者数＝健診に受診した延数

※対象者 1 名に対して QFT 検査を委託で直接撮影を保健所で実施した場合は、受診件数及び QFT 検査は委託分に直接撮影は保健所に各々 1 件と計上した

(8) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(8)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2)

(単位: 件)

区 分 年 度	総 数			被用者保険						国民健康 保 険			老人保健法			生活保護法			そ の 他		
				本 人			家 族														
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成26年度	154	154	-	39	39	-	20	20	-	60	60	-	27	27	-	7	7	-	1	1	-

表1-(8)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条)

(単位: 件)

区 分 年 度	総 数	被用者保険		国民健康 保 険	老人保健法	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族				
平成26年度	31	5	2	13	10	1	-

(9) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(9)-ア 就業制限通知数 (単位: 件)

区分	総 数
年度	
平成 26 年度	23

表1-(9)-イ 入院勧告数

(単位: 件)

区分	応急入院勧告数	入院勧告通知数 (本入院)
年度		
平成 26 年度	21	21

表1-(9)-ウ 入院措置数

(単位: 件)

区分	入院措置数
年度	
平成 26 年度	-

(10) ツベルクリン反応検査・QFT 検査実施状況

表1-(10)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位: 人)

年度	ツ反検査数			発赤径			被検者の年齢			
	保健所	委託分	その他	陰性	30mm 未満	30mm 以上	0~5 歳	6~29 歳	30~49 歳	50 以上 歳
平成 26 年度	48	39	-	79	79	8	87	-	-	-

表1-(10)-イ QFT 検査実施状況

(単位: 人)

年度	QFT 検査数	結果			
		陽性	判定 保留	陰性	判定 不可
平成 26 年度	417	19	10	388	

(11) エックス線検査実施状況

表1-(11) エックス線検査実施状況

(単位: 人)

年度	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成 24 年度	437	492	411	250	26	242
平成 25 年度	559	414	539	201	20	213
平成 26 年度	357	395	326	244	31	151

(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

表1－(12) 定期結核健康診断予防接種実施状況

(単位：人)

項 目 年度 区分		対象者数	受診者数	受診率 (%)	間接撮影数	直接撮影数	喀痰検査数	発見患者数	発病の恐れがある者の数	
平成 24 年度		122, 531	46, 631	38. 1	19, 894	26, 734	－	4	3	
平成 25 年度		135, 640	50, 059	36. 9	23, 093	26, 902	251	2	2	
平成 26 年度		127, 256	74, 814	58. 8	44, 949	18, 348	328	2	2	
内 訳	高等学校以上※		17, 734	16, 694	94, 1	16, 361	333	－	1	－
	施	高齢者	1, 865	1, 801	96, 6	835	961	3	－	－
	設	その他	－	－	－	－	－	－	－	－
	市町村		91, 958	41, 296	44. 9	22, 615	7, 234	185	－	－
	事業所		15, 699	15, 023	95, 7	5, 138	9, 820	140	1	2

※教職員については事業所として計上する。

(13) 結核予防啓発活動実施状況

表1－(13) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	活動内容	テーマ	対 象	参加人員
H26. 8. 7	習志野市 保健会館別館	講習	感染症について インフルエンザ、ノロウイルス感染症、腸管出血性大腸菌感染症、結核、疥癬	習志野市関係各課	13 人
H26. 8. 22	習志野市消防庁舎	講習	感染症について	介護保険事業者	89 人
H26. 9. 25	習志野市	講習	感染症について (エイズ・性感染症含む)	習志野市安全衛生 委員	25 人
H26. 10. 27	習志野健康福祉センタ ー	研修会	感染症研修会	特別養護・養護老人 ホーム、老人保健施 設、軽費・有料老人 ホーム、障害者施設 等の看護師、介護職 員等	54 人

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成26年	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2-(2) 2類感染症発生状況

(単位：人)

年	疾患名	人数	市町
平成26年	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況

(単位：人)

病類 年・市町	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
平成24年	15	-	-	15	-	-
平成25年	7	-	1	4	2	-
平成26年	36	-	2	34	-	-
習志野市	3	-	1	2	-	-
八千代市	17	-	-	17	-	-
鎌ヶ谷市	8	-	-	8	-	-
その他 (管外)	8	-	1	7	-	-

(4) 1類感染症及び2類感染症並びに3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

表2-(4)-ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)、検便(件))

病類 年度	疾患名	調査	検便(依頼)
平成26年度	-	-	-

表2-(4)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査実施状況（結核は除く）

(単位：調査(人)、検便(件))

病類 年度	疾患名	調査	検便(依頼)
平成26年度	-	-	-

表 2 - (4) - ウ 3 類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位:調査(人)、検便(件))

病 類 年 度	総 数		コレラ		細菌性 赤 痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌 陽性 者数
	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	調 査	検 便	
平成 24 年度	15	77	-	-	-	-	15	77	-	-	-	-	3
平成 25 年度	10	36	-	-	1	3	7	25	2	8	-	-	1
平成 26 年度	39	506	-	-	4	11	35	495	-	-	-	-	24

(5) 4 類感染症発生状況

ア 全数把握対象感染症

表 2 - (5) - ア 4 類感染症病発生状況

(単位:人)

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	E型肝炎	-	-	1
2	웨스트ナイル熱 (웨스트ナイル脳炎を含む)	-	-	-
3	A型肝炎	-	1	-
4	エキノкокクス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	重症熱性血小板減少症候群 (フルボウイルス 属 SFTS ウィルスであるものに限る)	※	-	-
15	腎症候性出血熱	-	-	-
16	西部ウマ脳炎	-	-	-
17	ダニ媒介脳炎	-	-	-
18	炭疽	-	-	-
19	チクングニア熱	-	-	-
20	つつが虫病	-	-	-
21	デング熱	-	2	1
22	東部ウマ脳炎	-	-	-
23	鳥インフルエンザ (H5N1 及び H7N9 を除く)	-	-	-
24	ニパウイルス感染症	-	-	-
25	日本紅斑熱	-	-	-
26	日本脳炎	-	-	-
27	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
28	B ウィルス病	-	-	-
29	鼻疽	-	-	-
30	ブルセラ症	-	-	-

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
31	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
32	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
33	発しんチフス	-	-	-
34	ボツリヌス症	-	-	-
35	マラリア	-	-	-
36	野兎病	-	-	-
37	ライム病	-	-	-
38	リッサウイルス感染症	-	-	-
39	リフトバレー熱	-	-	-
40	類鼻疽	-	-	-
41	レジオネラ症	-	6	9
42	レプトスピラ症	-	-	-
43	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

(※重症熱性血小板減少症候群は、平成 25 年 3 月 4 日から追加された)

(6) 5 類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表 2-(6)-ア 5 類感染症発生状況

(単位:人)

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	アメーバ赤痢	5	3	3
2	ウイルス性肝炎(E 型肝炎、A 型肝炎を除く)	-	-	-
3	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎、リフトバレー熱を除く)	-	2	-
4	クリプトスポリジウム症	-	-	-
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	-
6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	-	-
7	後天性免疫不全症候群	1	5	5
8	ジアルジア症	-	-	-
9	侵襲性インフルエンザ菌感染症	※	-	-
9-1	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
9-2	侵襲性肺炎球菌感染症	※	2	1
10	先天性風しん症候群	-	-	-
11	梅毒	1	4	6
12	破傷風	-	-	-
13	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
15	風しん	15	76	1

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
16	麻疹	1	-	2

(平成 25 年 4 月 1 日から「侵襲性インフルエンザ菌感染症」「侵襲性肺炎球菌感染症」が追加され、「髄膜炎菌性髄膜炎」が「侵襲性髄膜炎菌感染症」に変更された)

感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

1) 患者定点

表 2 - (6) - イ - 1) - (ア) 患者定点医療機関数

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
15	10	3	3	1	22

表 2 - (6) - イ - 1) - (イ) 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
1	RSウイルス感染症	272	263	228
2	咽頭結膜熱	595	306	263
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,028	1,204	1128
4	感染性胃腸炎	2,353	1,856	1561
5	水 痘	556	624	596
6	手足口病	187	1,245	216
7	伝染性紅斑	72	10	95
8	突発性発しん	192	227	241
9	百日咳	18	6	18
10	ヘルパンギーナ	723	418	520
11	流行性耳下腺炎	261	132	280
12	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,251	3,767	6261
13	急性出血性結膜炎	-	1	-
14	流行性角結膜炎	136	151	166
15	性器クラミジア感染症	56	56	68
16	性器ヘルペスウイルス感染症	16	14	21
17	尖圭コンジローマ	12	16	1
18	淋菌感染症	37	32	25
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌性髄膜炎は除く)	-	-	-

疾 患 名		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
21	マイコプラズマ肺炎	－	－	1
22	無菌性髄膜炎	－	－	－
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	28	35	7
24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	77	91	18
25	薬剤耐性アシネバクター感染症	－	－	－
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	－	－	－

2) 病原体定点

表 2－(6)－イー 2) 病原体定点医療機関及び検体提供数 (単位：件)

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数	2	2	1	1
検体提供数	5	55	－	－

(7) 4類感染症及び5類感染症発生に伴う健康調査実施状況

表 2－(7)－ア 4類感染症健康調査状況 (単位：人)

区 分	疾 患 名	調 査
平成 26 年度	A 型肝炎	1
	レジオネラ	7
	デング熱 (疑い含む)	5

表 2－(7)－イ 5類感染症健康調査状況

(単位：施設)

区 分	疾 患 名	調 査
平成 26 年度	麻疹	1
	インフルエンザ	10
	感染性胃腸炎	8

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2 - (8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査人、検便件)

区 分 年 度	総 数	発生に伴う調査数 (検疫通報除く) 管外での感染症	自主申告による 調査数	接触者及び同行者 検疫通報に伴う 調査数	検便実施者数	検 出 菌			
						コレラ	赤痢	O 1 5 7	その他
平成 24 年度	5	5	-	-	2	-	-	-	-
平成 25 年度	1	1	-	-	1	-	-	-	-
平成 26 年度	2	2	-	-	2	-	-	-	-

(9) その他

表 2 - (9) インフルエンザ様疾患届出状況

(単位：件)

区 分	届出施設 数	届出患者 数	措 置			
			学級閉鎖 数	学年閉鎖 数	休 校	その他
平成 24 年度	58	1, 254	122	12	3	—
平成 25 年度	71	2, 451	258	12	—	—
平成 26 年度	54	1, 577	168	6	1	—
幼 稚 園	11	115	13	2	1	—
小 学 校	33	1, 322	141	2	—	—
中 学 校	8	93	10	—	—	—
高 等 学 校	1	23	2	—	—	—
そ の 他	1	24	2	2	—	—

(1 0) 肝炎治療特別促進事業受給者状況

表 2 - (10) 肝炎治療特別促進事業受給者状況

(単位：件)

市別 年度	総 数	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
平成 24 年度	177	57	81	39
平成 25 年度	163	47	74	42
平成 26 年度	250	78	119	53

(1 1) 肝炎検査

表 2 - (11) 肝炎検査受付状況

(単位：件)

区分 年度	B型肝炎			C型肝炎		
	計	男	女	計	男	女
平成 24 年度	393	257	136	390	256	134
平成 25 年度	620	417	203	621	418	203
平成 26 年度	373	246	127	374	246	128

3 エイズ予防事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

(単位：人)

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加
平成 26 年 8 月 28 日	鎌ヶ谷市総合福祉 保健センター	講演会	思春期ネットワーク 連絡会	小・中学校 関係者、 市保健師	3 2
平成 26 年 9 月 25 日	習志野市教育 委員会	講演会	習志野市安全衛生委員会	小・中学校 関係者	2 6
平成 27 年 2 月 1 日	八千代市総合生涯 学習プラザ	資料展示 相談	思春期保健シンポジウム	学校関係者、 保護者、医療 関係者等	1 3 4

イ 街頭キャンペーン等開催状況

表3-(1)-イ 街頭キャンペーン等開催実施状況

月 日	主 な 内 容
平成 26 年 12 月 1 日	イオン津田沼店の新津田沼駅側連絡通路にて、薬物乱用防止啓発活動と合同で街頭キャンペーンを実施。エイズ・性感染症に関するリーフレット及びキャンペーングッズを配布し、知識の普及と予防啓発を行う。(1,000 部配布)

(2) H I V 抗体検査他性感染症検査

表3-(2) H I V 抗体検査他性感染症検査受付状況

(単位：件)

区 分	H I V 抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒血清検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成 24 年度	379	253	126	366	243	123	371	247	124
平成 25 年度	639	438	201	607	413	194	611	415	196
平成 26 年度	387	257	130	376	248	128	372	246	126

(3) エイズ相談受付状況

表3-(3) エイズ相談受付状況

(単位：件)

性別 年度 年齢階級		相談方法	男	女	小計	合計
平成24年度		電話相談	56	46	102	497
		来所相談	263	132	395	
		その他	-	-	-	
平成25年度		電話相談	93	46	139	785
		来所相談	440	206	646	
		その他	-	-	-	
平成26年度		電話相談	51	30	81	476
		来所相談	260	133	393	
		その他	2	-	2	
年齢階級	～19歳	電話相談	1	2	3	16
		来所相談	8	5	13	
		その他	-	-	-	
	20歳～29歳	電話相談	16	8	24	152
		来所相談	79	49	128	
		その他	-	-	-	
	30歳～39歳	電話相談	20	5	25	143
		来所相談	76	41	117	
		その他	1	-	1	
	40歳～49歳	電話相談	8	4	12	72
		来所相談	37	22	59	
		その他	1	-	1	
	50歳～59歳	電話相談	5	3	8	39
		来所相談	23	8	31	
		その他	-	-	-	
	60歳～69歳	電話相談	2	-	2	41
		来所相談	34	5	39	
		その他	-	-	-	
	不明	電話相談	6	1	7	13
		来所相談	4	2	6	
		その他	-	-	-	

(4) エイズ相談の状況

表3-(4) エイズ相談の状況

(単位：件)

相談者のうち外国人の人数	男性 4	女性 1	計 5
--------------	------	------	-----

4-1 特定疾患対策事業

(1) 特定疾患治療研究費受給者状況

表4-1-(1) 特定疾患治療研究費受給者状況

(単位： 件)

年度 疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
総 数		2,752	2,947	1,045	1,203	699
1	ベーチェット病	61	66	20	25	21
2	多発性硬化症	62	63	26	23	14
3	重症筋無力症	62	75	31	32	12
4	全身性エリテマトーデス	240	244	88	102	54
5	スモン	2	2	1	-	1
6	再生不良性貧血	36	34	14	13	7
7	サルコイドーシス	65	68	22	35	11
8	筋萎縮性側索硬化症	29	33	16	10	7
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	186	192	49	89	54
10	特発性血小板減少性紫斑病	87	89	27	50	12
11	結節性動脈周囲炎	37	45	20	20	5
12	潰瘍性大腸炎	480	528	232	193	103
13	大動脈炎症候群	23	25	8	8	9
14	ビュルガー病	19	20	9	10	1
15	天疱瘡	20	23	11	7	5
16	脊髄小脳変性症	80	83	21	35	27
17	クローン病	142	147	53	58	36
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1	3	-	1	2
19	悪性関節リウマチ	15	15	6	4	5
20	パーキンソン病関連疾患	372	401	125	162	114
21	アミロイドーシス	7	6	3	1	2
22	後縦靱帯骨化症	112	113	34	41	38
23	ハンチントン病	2	2	1	1	-
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	54	55	17	21	17
25	ウェゲナー肉芽腫症	5	8	5	3	-
26	特発性拡張型うっ血型心筋症	53	57	14	27	16
27	多系統萎縮症	38	40	13	19	8
28	表皮水疱症	2	3	3	-	-
29	膿疱性乾癬	6	5	1	-	4
30	広範脊柱管狭窄症	11	12	3	2	7
31	原発性胆汁性肝硬変	88	94	29	46	19
32	重症急性膵炎	11	15	2	10	3
33	特発性大腿骨頭壊死症	52	54	21	20	13
34	混合性結合組織病	38	41	11	23	7

年度 疾患名	平成 24 年度	平成 25 年度	習志 野市	八千 代市	鎌ケ 谷市
35 原発性免疫不全症候群	3	5	3	－	2
36 特発性間質性肺炎	21	34	6	18	10
37 網膜色素変性症	113	113	44	37	32
38 プリオン病	1	1	1	－	－
39 原発性肺高血圧症	5	5	4	1	－
40 神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型	10	8	1	5	2
41 亜急性硬化性全脳炎	－	－	－	－	－
42 バッドキアリ症候群	－	－	－	－	－
43 特発性慢性肺血栓塞栓症	11	12	3	7	2
44 ライゾーム病(ファブリー病含む)	2	2	－	2	－
45 副腎白質ジストロフィー	1	1	1	－	－
46 家族性高コレステロール血症	－	－	－	－	－
47 脊髄性筋萎縮症	5	6	2	3	1
48 球脊髄性筋萎縮症	3	2	1	－	1
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7	10	2	5	3
50 肥大型心筋症	6	10	6	4	－
51 拘束型心筋症	－	－	－	－	－
52 ミトコンドリア病	2	2	－	1	1
53 リンパ管筋腫症	3	3	－	2	1
54 重症多形滲出性紅斑(急性期)	－	－	－	－	－
55 黄色靱帯骨化症	5	6	4	1	1
56 間脳下垂体機能障害	56	66	31	26	9

(2) 特定疾患重症患者認定者数

表4－1－(2) 特定疾患重症患者認定者数

(単位： 件)

年度 疾患名	平成 24 年度	平成 25 年度	習志 野市	八千 代市	鎌ケ 谷市
総 数	376	405	142	155	108
1 ベーチェット病	6	6	2	2	2
2 多発性硬化症	12	12	4	5	3
3 重症筋無力症	3	3	－	3	－
4 全身性エリテマトーデス	9	12	7	3	2
5 スモン	2	2	1	－	1
6 再生不良性貧血	－	－	－	－	－
7 サルコイドーシス	5	7	1	3	3

年度 疾患名		平成 24 年度	平成 25 年度	習志 野市	八千 代市	鎌ヶ 谷市
8	筋萎縮性側索硬化症	20	21	11	5	5
9	強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎	4	3	－	2	1
10	特発性血小板減少性紫斑病	1	1	1	－	－
11	結節性動脈周囲炎	3	5	2	3	－
12	潰瘍性大腸炎	1	－	－	－	－
13	大動脈炎症候群	6	5	1	2	2
14	ビュルガー病	1	1	1	－	－
15	天疱瘡	1	1	1	－	－
16	脊髄小脳変性症	47	47	15	18	14
17	クローン病	1	1	－	1	－
18	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	－	3	－	1	2
19	悪性関節リウマチ	5	5	1	3	1
20	パーキンソン病関連疾患	85	91	29	37	25
21	アミロイドーシス	－	1	－	－	1
22	後縦靱帯骨化症	13	14	5	6	3
23	ハンチントン病	2	2	1	1	－
24	モヤモヤ病	8	8	3	4	1
25	ウェゲナー肉芽腫症	2	2	1	1	－
26	特発性拡張型心筋症	12	14	2	7	5
27	多系統萎縮症	25	26	10	10	6
28	表皮水疱症	－	－	－	－	－
29	膿疱性乾癬	－	－	－	－	－
30	広範脊柱管狭窄症	7	7	3	－	4
31	原発性胆汁性肝硬変	1	1	1	－	－
32	重症急性膵炎	10	15	2	10	3
33	特発性大腿骨頭壊死症	3	2	2	－	－
34	混合性結合組織病	2	2	－	1	1
35	原発性免疫不全症候群	－	－	－	－	－
36	特発性間質性肺炎	2	2	1	1	－
37	網膜色素変性症	61	64	24	20	20
38	プリオン病	1	1	1	－	－
39	原発性肺高血圧症	－	－	－	－	－
40	神経繊維腫症Ⅰ型Ⅱ型	2	2	－	1	1
41	亜急性硬化性全脳炎	－	－	－	－	－
42	バッドキアリ症候群	－	－	－	－	－
43	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1	1	－	－	1
44	ライゾーーム病(ファブリー病含む)	－	－	－	－	－

年度 疾患名	平成 24 年度	平成 25 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
45 副腎白質ジストロフィー	1	1	1	-	-
46 家族性高コレステロール血症	-	-	-	-	-
47 脊髄性筋萎縮症	5	6	2	3	1
48 球脊髄性筋萎縮症	2	2	1	1	-
49 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2	2	1	1	-
50 肥大型心筋症	2	2	2	-	-
51 拘束型心筋症	-	-	-	-	-
52 ミトコンドリア病	-	-	-	-	-
53 リンパ脈管筋腫症	-	-	-	-	-
54 重症多形滲出性紅斑(急性期)	-	-	-	-	-
55 黄色靱帯骨化症	-	2	2	-	-
56 間脳下垂体機能障害	-	-	-	-	-

4-2 指定難病医療費助成制度

(1) 特定医療費（指定難病）受給者状況

表 4-2-(1) 特定医療費（指定難病）受給者状況 (単位： 件)

年度 疾患名	平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
総計	2950	1036	1211	703
1 球脊髄性筋萎縮症	2	1	-	1
2 筋萎縮性側索硬化症	23	12	7	4
3 脊髄性筋萎縮症	6	2	3	1
4 原発性側索硬化症	-	-	-	-
5 進行性核上性麻痺	49	14	22	13
6 パーキンソン病	339	101	144	94
7 大脳皮質基底核変性症	13	2	8	3
8 ハンチントン病	2	1	1	-
9 神経有棘赤血球症	-	-	-	-
10 シェルコー・マリー・トゥース病	-	-	-	-
11 重症筋無力症	75	31	33	11
12 先天性筋無力症候群	-	-	-	-
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	62	27	23	12
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	14	6	5	3
15 封入体筋炎	-	-	-	-
16 クロウ・深瀬症候群	-	-	-	-
17 多系統萎縮症	34	13	11	10
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	80	24	32	24
19 ライソゾーム病	3	1	2	-
20 副腎白質ジストロフィー	3	1	2	-
21 ミトコンドリア病	2	-	1	1
22 もやもや病	57	16	24	17
23 プリオン病	-	-	-	-
24 亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-
25 進行性多巣性白質脳症	-	-	-	-
26 HTLV-1関連脊髄症	-	-	-	-
27 特発性基底核石灰化症	-	-	-	-
28 全身性アミロイドーシス	7	4	2	1
29 ウルリッヒ病	-	-	-	-
30 遠位型ミオパチー	-	-	-	-
31 ベスレムミオパチー	-	-	-	-

年度 疾患名	平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
32 自己食空胞性ミオパチー	—	—	—	—
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	—	—	—	—
34 神経線維腫症	7	2	4	1
35 天疱瘡	22	10	6	6
36 表皮水疱症	3	3	—	—
37 膿胞性乾癬（汎発型）	5	1	—	4
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	—	—	—	—
39 中毒性表皮壊死症	—	—	—	—
40 高安動脈炎	21	7	7	7
41 巨細胞性動脈炎	—	—	—	—
42 結節性多発動脈炎	14	6	8	—
43 顕微鏡的多発血管炎	25	11	10	4
44 多発血管炎性肉芽腫症	10	8	2	—
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	1	1	—
46 悪性関節リウマチ	15	7	2	6
47 バージャー病	17	9	6	2
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	—	—	—	—
49 全身性エリテマトーデス	243	91	96	56
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	62	16	27	19
51 全身性強皮症	138	33	70	35
52 混合性結合組織病	40	13	19	8
53 シェーグレン症候群	4	—	3	1
54 成人スチル病	1	—	—	1
55 再発性多発軟骨炎	2	—	2	—
56 ベーチェット病	65	22	23	20
57 特発性拡張型心筋症	55	15	27	13
58 肥大型心筋症	11	6	4	1
59 拘束型心筋症	—	—	—	—
60 再生不良性貧血	30	10	12	8
61 自己免疫性溶血性貧血	—	—	—	—
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	—	—	1
63 特発性血小板減少性紫斑病	81	27	40	14
64 血栓性血小板減少性紫斑病	—	—	—	—
65 原発性免疫不全症候群	4	3	—	1
66 IgA腎症	3	—	3	—
67 多発性嚢胞腎	3	3	—	—
68 黄色靱帯骨化症	7	4	3	—
69 後縦靱帯骨化症	109	33	39	37
70 広範脊柱管狭窄症	13	4	2	7
71 特発性大腿骨頭壊死症	53	22	19	12
72 下垂体性ADH分泌異常症	7	3	4	—
73 下垂体性TSH分泌亢進症	1	—	1	—
74 下垂体性PRL分泌亢進症	4	—	3	1
75 クッシング病	5	3	2	—
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1	—	—	1
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	17	6	7	4
78 下垂体前葉機能低下症	46	20	19	7
79 家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	—	—	—	—
80 甲状腺ホルモン不応症	—	—	—	—
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	—	—	—	—
82 先天性副腎低形成症	—	—	—	—
83 アジソン病	1	—	—	1
84 サルコイドーシス	69	20	37	12
85 特発性間質性肺炎	29	6	15	8
86 肺動脈性肺高血圧症	5	3	2	—
87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	—	—	—	—
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	12	3	7	2
89 リンパ脈管筋腫症	5	2	2	1
90 網膜色素変性症	108	38	37	33
91 バッド・キアリ症候群	—	—	—	—
92 特発性門脈圧亢進症	—	—	—	—
93 原発性胆汁性肝硬変	97	29	47	21
94 原発性硬化性胆管炎	—	—	—	—
95 自己免疫性肝炎	2	1	1	—

年度 疾患名	平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
96 クローン病	150	56	59	35
97 潰瘍性大腸炎	554	223	213	118
98 好酸球性消化管疾患	—	—	—	—
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	—	—	—	—
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	—	—	—	—
101 腸管神経節細胞減少症	—	—	—	—
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	—	—	—	—
103 CFC症候群	—	—	—	—
104 コステロ症候群	—	—	—	—
105 チャージ症候群	—	—	—	—
106 クリオピリン関連周期熱症候群	—	—	—	—
107 全身型若年性特発性関節炎	—	—	—	—
108 TNF受容体関連周期性症候群	—	—	—	—
109 非典型溶血性尿毒症症候群	—	—	—	—
110 ブラウ症候群	—	—	—	—

(2) 特定医療費（指定難病）重症患者認定者数

表4-2-(2) 特定医療費（指定難病）重症患者認定者数

(単位： 件)

年度 疾患名	平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
総計	344	126	125	93
1 球脊髄性筋萎縮症	2	1	—	1
2 筋萎縮性側索硬化症	13	7	2	4
3 脊髄性筋萎縮症	6	2	3	1
4 原発性側索硬化症	—	—	—	—
5 進行性核上性麻痺	15	6	8	1
6 パーキンソン病	61	16	26	19
7 大脳皮質基底核変性症	3	—	2	1
8 ハンチントン病	2	1	1	—
9 神経有棘赤血球症	—	—	—	—
10 シャルコー・マリー・トゥース病	—	—	—	—
11 重症筋無力症	3	—	3	—
12 先天性筋無力症候群	—	—	—	—
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	13	5	5	3
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	4	2	2	—
15 封入体筋炎	—	—	—	—
16 クロウ・深瀬症候群	—	—	—	—
17 多系統萎縮症	15	7	2	6
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	43	16	17	10
19 ライソゾーム病	—	—	—	—
20 副腎白質ジストロフィー	1	1	—	—
21 ミトコンドリア病	—	—	—	—
22 もやもや病	8	3	4	1
23 プリオン病	—	—	—	—
24 亜急性硬化性全脳炎	—	—	—	—
25 進行性多巣性白質脳症	—	—	—	—
26 HTLV-1関連脊髄症	—	—	—	—
27 特発性基底核石灰化症	—	—	—	—
28 全身性アミロイドーシス	—	—	—	—
29 ウルリッヒ病	—	—	—	—
30 遠位型ミオパチー	—	—	—	—
31 ベスレムミオパチー	—	—	—	—
32 自己食空胞性ミオパチー	—	—	—	—
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	—	—	—	—
34 神経線維腫症	2	—	1	1
35 天疱瘡	1	1	—	—
36 表皮水疱症	—	—	—	—
37 膿胞性乾癬（汎発型）	—	—	—	—

年度 疾患名		平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	—	—	—	—
39	中毒性表皮壊死症	—	—	—	—
40	高安動脈炎	5	1	2	2
41	巨細胞性動脈炎	—	—	—	—
42	結節性多発動脈炎	1	—	1	—
43	顕微鏡的多発血管炎	4	2	2	—
44	多発血管炎性肉芽腫症	2	1	1	—
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	—	—	—	—
46	悪性関節リウマチ	3	1	1	1
47	バージャー病	1	1	—	—
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	—	—	—	—
49	全身性エリテマトーデス	14	8	4	2
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	1	—	—	1
51	全身性強皮症	1	—	1	—
52	混合性結合組織病	2	—	1	1
53	シェーグレン症候群	—	—	—	—
54	成人スチル病	—	—	—	—
55	再発性多発軟骨炎	—	—	—	—
56	ベーチェット病	6	2	2	2
57	特発性拡張型心筋症	12	2	7	3
58	肥大型心筋症	2	2	—	—
59	拘束型心筋症	—	—	—	—
60	再生不良性貧血	—	—	—	—
61	自己免疫性溶血性貧血	—	—	—	—
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	—	—	—	—
63	特発性血小板減少性紫斑病	1	1	—	—
64	血栓性血小板減少性紫斑病	—	—	—	—
65	原発性免疫不全症候群	—	—	—	—
66	IgA腎症	—	—	—	—
67	多発性嚢胞腎	—	—	—	—
68	黄色靱帯骨化症	2	2	—	—
69	後縦靱帯骨化症	13	4	6	3
70	広範脊柱管狭窄症	6	2	—	4
71	特発性大腿骨頭壊死症	3	2	—	1
72	下垂体性ADH分泌異常症	—	—	—	—
73	下垂体性TSH分泌亢進症	—	—	—	—
74	下垂体性PRL分泌亢進症	—	—	—	—
75	クッシング病	—	—	—	—
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	—	—	—	—
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	—	—	—	—
78	下垂体前葉機能低下症	—	—	—	—
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	—	—	—	—
80	甲状腺ホルモン不応症	—	—	—	—
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	—	—	—	—
82	先天性副腎低形成症	—	—	—	—
83	アジソン病	—	—	—	—
84	サルコイドーシス	8	2	3	3
85	特発性間質性肺炎	1	1	—	—
86	肺動脈性肺高血圧症	—	—	—	—
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	—	—	—	—
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	—	—	1
89	リンパ管筋腫症	—	—	—	—
90	網膜色素変性症	61	23	17	21
91	バッド・キアリ症候群	—	—	—	—
92	特発性門脈圧亢進症	—	—	—	—
93	原発性胆汁性肝硬変	1	1	—	—
94	原発性硬化性胆管炎	—	—	—	—
95	自己免疫性肝炎	—	—	—	—
96	クローン病	1	—	1	—
97	潰瘍性大腸炎	—	—	—	—
98	好酸球性消化管疾患	—	—	—	—
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	—	—	—	—
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	—	—	—	—
101	腸管神経節細胞僅少症	—	—	—	—

年度 疾患名		平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	-	-	-	-
103	CFC症候群	-	-	-	-
104	コスデロ症候群	-	-	-	-
105	チャージ症候群	-	-	-	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	-	-	-	-
107	全身型若年性特発性関節炎	-	-	-	-
108	TNF受容体関連周期性症候群	-	-	-	-
109	非典型溶血性尿毒症症候群	-	-	-	-
110	ブラウ症候群	-	-	-	-

(3) 特定疾患介護手当支給状況

表4-2-(3) 特定疾患介護手当支給状況

(単位： 件)

年度 区 分		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
特定疾患 特別介護手当支給 件数		25	21	17	8	5	4

(4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表4-2-(4) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

(単位： 件)

市別 年 度		総 数	習 志 野 市	八 千 代 市	鎌 ヶ 谷 市
平成 24 年度		10	7	3	-
平成 25 年度		9	6	3	-
平成 26 年度		9	6	3	-

(5) 難病相談事業

昭和 61 年度から「千葉県難病相談事業実施要綱」に基づき、在宅療養支援計画策定・評価事業、訪問相談、医療相談（集団指導）、面接相談、訪問指導及び窓口相談等を実施している。

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表 4－2－（5）－ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況

区 分 年 度	支援計画策定 実施件数	支援計画評価 実施件数	構 成 員（人）						
			専門 医	家庭 医	看護 師	理学 療法 士	保健 師	その 他	職 員
平成 24 年度	19	20	9	7	44	6	31	79	8
平成 25 年度	10	10	4	2	21	6	－	34	10
平成 26 年度	3	3	－	1	3	－	－	12	3

イ 相談内容状況

表 4－2－（5）－イ 相談内容実施状況

（単位：人）

内 容	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
相談者数（延）	1,520	1,791	3,278
申 請 等	1,520	1,791	3,143
医 療	61	457	11
家 庭 看 護	31	121	6
福 祉 制 度	115	466	836
就 労	－	－	－
就 学	－	－	－
食 事 ・ 栄 養	6	81	2
歯 科	－	－	－
そ の 他	228	104	21

ウ 医療相談事業

表 4-2-(5) -ウ 医療相談事業実施状況

疾 患 名	月 日	主 な 内 容	参加者数 (人)
神経難病	5 月 26 日	難病患者の支援者へ 神経難病患者とリハビリテーションをテーマにした講演会	支援者 63 職員 2
神経難病	9 月 11 日	神経難病患者・家族へ 東葛南部地域難病相談支援センター主催の 個別相談会	患者・家族 2 職員 1
神経難病	12 月 2 日	神経難病患者・家族へ 神経難病に関する講演、個別相談 患者・家族間の交流会	患者・家族 26 職員 3 関係者 9

(注) 関係者とは、他機関の職員、ボランティア等である。

エ 訪問診療等事業

平成 13 年度から、訪問リハビリテーション事業を開始し、主に、神経難病患者を対象に理学療法士と保健師が訪問し指導している。26 年度は未実施。

表 4-2-(5) -エ 訪問診療等事業実施状況

(単位：人)

区分 年度	指 導 人 数		実施 方法	従 事 者 人 数					
	実人員	延 人 員		専門医	主治医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成 26 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

オ 訪問指導事業

表 4-2-(5) -オ 訪問指導事業実施状況

(単位：件)

疾 患 名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
総 数	80	47	12
ベ ー チ ャ ッ ト 病	1	1	-
多 発 性 硬 化 症	2	1	-
全 身 性 エ リ テ マ ト ー デ ス	3	3	-
ス モ ン	-	-	-
筋 萎 縮 性 側 索 硬 化 症	31	22	9
強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎	1	2	1
ビ ュ ル ガ ー 病	1	1	-
脊 髄 小 脳 変 性 症	15	8	1
悪 性 関 節 リ ウ マ チ	1	1	-
パ ー キ ン ソ ン 病	7	2	-
後 縦 靱 帯 骨 化 症	2	1	-
ハ ン チ ン ト ン 舞 踏 病	-	1	-
モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	-	-	-
多 系 統 萎 縮 症	13	2	1
特 発 性 間 質 性 肺 炎	-	-	-
網 膜 色 素 変 性 症	2	2	-

疾 患 名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
重 症 筋 無 力 症	-	-	-
広 範 脊 柱 管 狭 窄 症	-	-	-
特 発 性 大 腿 骨 頭 壊 死 症	-	-	-
亜 急 性 硬 化 性 全 脳 炎	-	-	-
特 発 性 慢 性 肺 血 栓 塞 栓 症	-	-	-
そ の 他	1	-	-

カ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣状況

表 4-2-(5)-カ-(ア) 訪問相談員派遣状況

区分 年度	訪問相談人員数	回 数	実 人 員	延 人 員
平成 24 年度	3	41	8	41
平成 25 年度	2	46	6	46
平成 26 年度	1	10	2	10

(イ) 訪問相談員育成事業

表 4-2-(5)-カ-(イ) 訪問相談員育成実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人数 (延)
平成 24 年度	随時 12 月 5 日	・ 保健所保健師同行訪問 ・ 平成 24 年度難病研修参加	看護師 保健師	7
平成 25 年度	随時	・ 保健所保健師同行訪問	看護師 保健師	2
平成 26 年度	随時	・ 保健所保健師同行訪問	保健師	1

5 原爆被爆者対策事業

(1) 被爆者手帳交付状況

表5－(1) 被爆者手帳交付状況

(単位：件)

区分 年度	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成24年度	233(0)	－	3	1	5	230(0)
平成25年度	230(0)	－	8	4	15	219(0)
平成26年度	219(0)	－	3	2	9	211(0)
習志野市	72(0)	－	3	－	2	73(0)
八千代市	86(0)	－	－	1	2	83(0)
鎌ヶ谷市	61(0)	－	－	1	5	55(0)

(注) 被爆者健康診断受診者証交付数は()を設けて再掲する。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表5－(2) 被爆者健康診断実施状況

(単位：人)

年 度	施 設		対 象 者 数	受 診 者 数	受診率 (%)	要精検者数
平成 24 年度	保健所	前 期	233	26	11. 2	－
		後 期	236	18	7. 6	－
	委託医 療 機 関		－	－	50	－
平成 25 年度	保健所	前 期	230	19	8. 3	－
		後 期	234	14	6. 0	－
	委託医 療 機 関		－	－	64	－
平成 26 年度	保健所	前 期	220	19	8. 6	－
		後 期	209	17	8. 1	－
	委託医 療 機 関		－	－	31	－

(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

表5－(3) 特別措置法に基づく各種手当での支給状況

(単位：件)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
総数	213	206	184
医療特別手当	7	8	8
特別手当	1	1	2
原子爆弾小頭症手当	－	－	－
健康管理手当	180	171	161
保健手当	7	5	4
介護手当	12	6	－
葬祭料	6	15	9
健康手当	188	180	171

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まない。